

成果の説明書

(氏名) 原 史子	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none">・初年次ゼミ、基礎演習、演習 I、児童福祉論、社会福祉論、家庭福祉論、社会福祉特論（前期:大学院）を担当した。・講義科目では、パワーポイントのレジュメを配布し、具体的な理解を得られるよう映像教材を必要に応じて用いた。また、毎回の講義で受講生に Forms によるリアクションペーパーを記入してもらい、質問や共通して理解を補う必要がある箇所について、次回以降の講義でフィードバックするよう努めた。・演習 I では、社会的養護関連の施設機関にインタビュー調査を行い、社会的養護の課題分析を行うなどの活動を行った。その成果を地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」（3 年生 2 チーム）に出場し発表した。・基礎演習では、高崎市福祉部子育て支援担当部長をゲストスピーカーとして招聘し、子育て支援に関する具体的な自治体の活動を紹介して頂く機会を得た。 <p>(2) 研究活動</p> <p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none">・原 史子(2023)『新しい社会的養育ビジョン』にみる『家庭養育優先原則』とその課題—支援における重層的な『親密圏』形成への視点から—『産業研究』第 58 巻第 2 号,pp.35-53,高崎経済大学地域科学研究所。・新田さやか,原 史子,三本松政之(2023)「児童養護施設を退所した当事者によるケアリングコミュニティ形成の試み—ケアリーバーと中間支援団体の協同に着目して—」『長野大学地域共生福祉論集』第 16 号,pp.27-34。 <p>【その他著作物】</p> <ul style="list-style-type: none">・原 史子(2023)「児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境」『社会福祉学習双書 2023 第 5 巻児童・家庭福祉 改訂第 2 版』pp. 51-76, 全国社会福祉協議会。・原 史子(2023)「子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止」「貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応」『新・基本保育シリーズ 3 子ども家庭福祉 第 2 版』pp. 111-124, pp. 125-140, 中央法規出版。・原 史子(2023)「要保護児童およびその家庭に対する支援」『新・基本保育シリーズ 5 子ども家庭支援 第 2 版』pp. 157-168, 中央法規出版。 <p>【学会発表】</p> <p>原 史子「要保護要支援児童の支援における重層的な『親密圏』形成への視点—『家庭養育優先原則』と市町村の子ども家庭支援体制の構築をめぐって—」2022 年度日本社会福祉学会関東地域部会研究大会自由研究報告,2023 年 3 月 19 日,リモート開催。</p> <p>(研究の状況は以下の通り)</p> <ul style="list-style-type: none">・児童養護施設退所者の「多様な親密圏の担保」に向けた施設による支援の再考（基盤研究 C・代表） <p>上記論文の執筆および学会発表を行った。児童養護施設等要保護要支援児童を支援している施設等への聞き取り調査を行った。</p>	

(3) 学内業務

- ・入学試験運営委員、入試課題検討委員（後期）、実習運営委員
- ・本学オープンキャンパス（Web 配信型）模擬授業 担当
- ・高崎経済大学 地域政策学会 理事
- ・地域科学研究所所員

2 その他の事項

(1) 学会活動等

- ・日本社会福祉学会査読委員
- ・人間福祉学会理事

(2) 社会活動

- ・ラジオ高崎の「ラジオゼミナール」出演（2022年9月23日、30日）
- ・上毛新聞コメント「子育て支援に予算を」（2022年7月11日）
- ・吉岡町補助金等審査委員会委員（委員長）
- ・社会福祉法人中日新聞社会事業団理事

3 次年度以降の計画・抱負

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、科研費課題のインタビュー調査が遅れているため、優先的に取り組みたい。
- ・演習Ⅰのゼミ生と調査研究を行い、ゼミ活動の充実を図っていく。